

総務常任委員会 所管事務調査報告書

大学との連携（市民参画含む）について

平成29年3月

1 調査事件名

大学との連携（市民参画含む）について

2 調査の目的

- ①大学との協働を図り、知的資源の有効活用や未来へのビジョン策定などの機会を探るため。
- ②市政における市民参画の現状と課題について、審議会や協議会などへの参加状況や参加されている人の声を聴き、他自治体の取り組みにも学び、より多くの市民が参加できる市政づくりを考えるため。

3 調査の結果

- ①所管部局からの施策実施状況調査を行なうことで、同志社大学や同志社女子大学との連携事業が多岐に亘ることがわかった。ただ、その多くは審議会や委員会に大学の教員や職員が一委員として参加するに過ぎず、研究者としての教員や学生が市民の生活・健康実態を調査したり、あるいは生活向上や健康増進に直接提言するものとはなっていなかった。
- ②全国大学まちづくり政策フォーラムの開催や、一部に市の特産品を用いたの商品開発および販売、あるいは商店街の活性化に積極的に学生が参加されるものもあるが、それもゼミ生の単位取得のための活動にとどまっており、恒久的に市の施策に反映されるものとなっていない。とりわけ、市民も積極的に参加して開催されている全国大学まちづくり政策フォーラムでは、テーマを与えずに自由発想をしてもらおう形から、予めテーマをいくつか用意しておき、その中から一つのテーマを選択して提言するという形に変わってきている。
- ③石川県野々市市への視察研修を行なうことで、具体的な取り組み例を学ぶことができた。野々市市の取り組みの中で特徴的なことは、当市にある2大学とだけではなく、近隣市にある2大学1短期大学とも積極的に連携事業を行なっておられることにある。しかも、それぞれの大学が専門分野を生かした施策提言を行なったり、市民とともにその実践活動を行なっておられるため、市当局や市民との関係性も深くなっている。具体的には、市の飲料水、市のシンボル椿を用いた商品・製品の共同開発（苗木、酒の生産・販売）、椿サミットなどのイベントの実施



共同開発された日本酒

以外に、市内循環バス「のっティ」のダイヤ編成、街頭パトロール、防災訓練や防災教育などである。



野々市市 市の花木 椿



- ④本市や近隣市にある大学との懇談、市民との意見交換などについては、先方との日程調整がつかず、開催できなかった。

4 総括

本市では、同志社大学や同志社女子大学と数多くの連携事業に取り組まれているにも関わらず、その実態は審議会や委員会への委員参加が主であり、野々市市で行われているような具体的でかつ実践的な施策提言にまで至っていないのが現状である。野々市市のように、知的財産を有効に、そして最大限に活かすことができているという事は、極めて残念である。

また、こうした研究の成果を直接的に市の施策に反映させることができるという事は、大学側にとっても、研究者冥利に尽きると考える。

こうした市と大学の両者にとってメリットのある活動を行なうこと、そして、市民とともに取り組んでいくことは、結果として市や大学だけではなく、市民の意識向上にも繋がることになり、その相乗効果は計り知れない。そこにこそ、「大学のあるまち」としての意義があると考えている。

これまで本市には市民とともに施策を生み出していくような取り組みは見られなかった。今後は、同志社大学や同志社女子大学と本市がまさに研究分野でがっちりと連携し、市民に直接影響や効果を与えるようなまちづくりや取り組みを進めていくことが必要である。また、近隣市にある大学とも、ぜひ連携を進められることを提案する。

5 調査の経過

(1) 委員会開催日

平成27年	6月	1日	協議会	所管事務調査活動計画の協議
平成27年	6月	8日	協議会	活動方針、活動内容及び調査方法、調査事項の協議
平成27年	6月	22日	委員会	委員間討議
平成27年	9月	16日	委員会	大学との連携(市民参画含む)説明と質疑 委員間討議
平成27年	12月	14日	委員会	委員間討議
平成28年	3月	10日	委員会	委員間討議
平成28年	6月	20日	委員会	委員間討議 (管外視察先等の協議等)
平成28年	9月	13日	委員会	委員間討議
平成28年	12月	16日	委員会	委員間討議
平成29年	1月	17日	協議会	所管事務調査報告に向けての協議
平成29年	1月	31日	協議会	所管事務調査報告に向けての協議
平成29年	2月	16日	協議会	所管事務調査報告に向けての協議
平成29年	3月	9日	委員会	所管事務調査報告書案の最終取りまとめ

(2) 派遣

平成28年 7月22日 石川県野々市市へ調査のため委員6名を派遣